

平成 24 年度市道除排雪事業の実施結果について

平成 24 年度市道除排雪事業の実施結果について次のとおり報告する。

1 気象状況（盛岡地方気象台観測値）

- ・累計降雪量と 10 cm 以上の降雪は，過去 5 年では平成 21 年度に次ぎ多かった。
- ・気温は，12 月上旬から 2 月下旬まで低温が続き，真冬日は過去 5 年で最も多かった。

（単位 cm, 日）

年度	24	23	22	21	20	19	平均 (23~19)
累計降雪量	235	216	234	256	162	152	204
10cm 以上の降雪日数	8	3	5	9	4	5	5
真冬日数	26	24	20	14	3	12	15

2 実施状況（平成 24 年 12 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日までの 121 日間）

(1) 除排雪等出動結果

- ・除雪作業は，出動基準 10 cm を超える降雪に対し業者へ一斉出動を 11 回指示した。
- ・凍結防止剤散布車は，12 月上旬から 3 月上旬までほぼ連日出動した。
- ・排雪作業は，1 月上旬から上田通りなどのバス路線，学校周辺及び湯沢団地などの幹線について実施した。
- ・アイスバーン破碎装置は，学校周辺の通学路，狭あい道路のアイスバーンやわだちの除去作業に 18 日出動した。

除排雪等出動日数（一部出動，雪置き場整地作業を含む。）

（単位 日）

年度	24	23	22	21	20	19	
除排雪出動	合計	186	158	181	148	104	133
	盛岡地域	114	91	98	91	63	93
	玉山区	72	67	83	57	41	40
凍結防止剤 散布出動	合計	111	111	94	94	102	118
	盛岡地域	87	88	69	72	76	88
	玉山区	24	23	25	22	26	30

(2) 除雪実施延長

除雪延長は，前年度より車道約 25km，歩道約 12km 増加した。

除排雪指定路線延長（※農道，林道及びその他（48.01km）を含む）

（単位 km）

年度	24	23	22	21	20	19	
合計	車道	1,491.01	1,466.26	1,441.85	1,422.09	1,412.58	1,397.12
	歩道	322.50	310.70	307.90	293.30	288.70	272.84
盛岡 地区	車道	1,155.25	1,130.60	1,105.28	1,086.57	1,078.60	1,063.50
	歩道	307.51	295.70	292.90	278.50	275.10	260.40
玉山 区	車道※	335.76	335.66	336.57	335.52	333.98	333.62
	歩道	15.0	15.00	15.00	14.80	13.60	12.44

(3) 市民協働の除排雪の推進

- ・町内会等への小型除雪機の貸出しは表のとおりで、140台のうち4台を予備とした。日単位の貸出しは、2団体で2台の利用があった。
- ・排雪用運転手付きダンプトラックは、12月12日から3月9日まで貸し出し、積込み機械は、積雪深が貸出し基準35cmを超えた1月2日以降、延べ9団体に9台貸出した。
- ・身近な雪置き場として、127の公園を63団体に利用開放し、また、より身近な雪置き場については、6団体で8箇所の申込があった。

小型除雪機及び排雪用ダンプトラック貸出し状況 (単位 台, 団体)

年度		24	23	22	21	20	19
小型除雪機 (冬期間貸出)	台数	136	132	130	118	105	91
	団体数	99	103	106	96	89	85
ダンプトラック	台数	127	76	199	42	23	47
	団体数	55	32	101	19	9	26

(4) 盛岡市職員除雪隊の出動

- ・職員除雪隊は、除雪困難世帯18箇所に9日、小学校等の始業前に学校周辺の交差点と通学路15箇所に5日、延べ76人出動した。

(5) 市民対応専門窓口の開設

- ・窓口体制は、全庁体制(11名)で8日、縮小した建設部体制(8名)で50日対応し、全受付件数2,676件のうち2,098件の約78%を処理した。

3 実施結果

(1) 事業費

- ・除排雪等に要した事業費と除排雪作業に要した経費である委託料は、表のとおり。
- ※このうち排雪に要した費用は、盛岡地域で138,502千円、玉山区で594千円であった。

除排雪事業費 (※大型補正除雪車両更新の繰越148,301千円を含む) (単位 千円)

年度		24	23	22	21	20	19	平均 (19~23)
合計	事業費	1,180,313	598,851	1,568,549	667,640	538,546	510,016	776,720
	委託料	822,824	483,965	1,412,169	527,799	404,189	363,321	638,289
盛岡 地域	事業費 ※	1,079,182	550,975	1,429,693	604,457	493,174	468,848	709,429
	委託料	774,297	449,188	1,290,672	477,477	372,812	346,205	587,271
玉山 区	事業費	101,131	47,876	138,856	63,183	45,372	41,168	67,291
	委託料	48,527	34,777	121,497	50,322	31,377	17,116	51,018

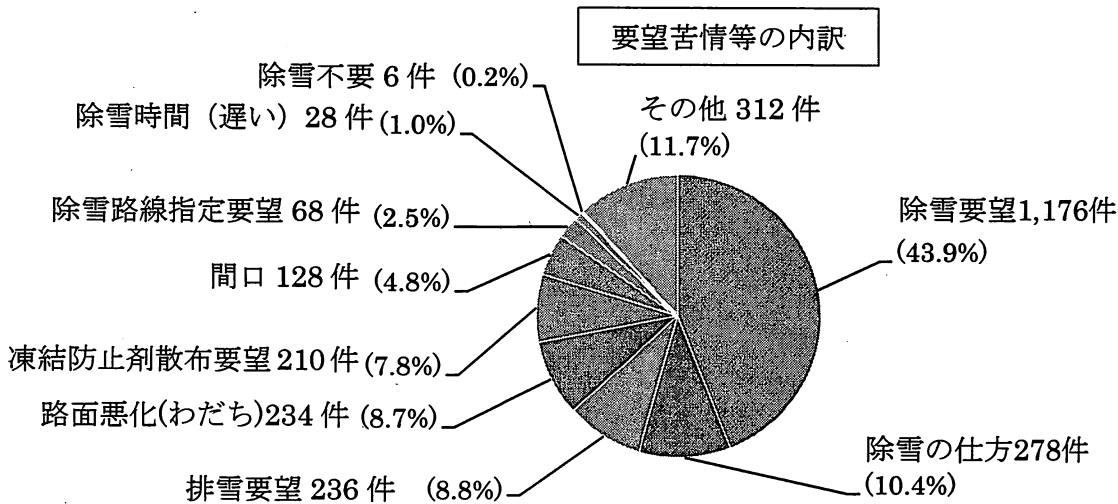
(2) 要望等の件数

- ・市民等からの要望等は、昨年度より1,595件多く、平成22年度豪雪に次いで多かった。
- ・降雪量が多かったことから、「早期の除雪」や除雪の仕方や路面悪化などの「除雪後の状況」について要望等が多く寄せられた。

要望苦情等の件数

(単位 件)

年度	24	23	22	21	20	19	平均 (19~23)
合計	2,676	1,081	3,074	1,002	873	845	1,375
盛岡地区	2,532	996	2,688	878	751	768	1,216
玉山区	144	85	386	124	122	77	159



4 課題

(1) 除排雪委託業者及び除排雪車両の不足

- ・1台当たりの作業量は依然として多く、除雪作業が降雪に追いつかず、降雪が通行車両に踏み固められ圧雪凍結し、更に路面悪化を招いている状況も見られる。また業者間で作業技術の差がある等の声が寄せられている。

(2) 市民協働による除排雪体制の構築

- ・小型除雪機や排雪用ダンプトラックの貸出しについては、高齢化等により除雪機の運転手不足やダンプ積込が出来ない等の声が寄せられている。
- ・除雪モニターは、全30コミュニティ地区(盛岡地区26 玉山区4)の内、25地区から選出されたが、5地区が不在であった。

(3) 凍結路面对策

- ・平成24年度から凍結防止剤散布車が通行できない路線において、路面状況を見ながら除雪作業時に凍結防止剤の散布作業を行うこととしたが、人的、時間的に余裕がない等の理由から実施出来ない業者が多かった。
- ・アイスバーン破碎装置は、わだちの山を削る作業に効果的であったが、路肩の傾斜部分の作業に不向きであるなどの課題があった。

5 今後の対応方針

(1) 除排雪委託業者及び除排雪車両の確保

- ・業者の確保と担当路線の調整を図り作業の効率化に努め、またオペレーターの技術レベルや意識向上を目的とした講習会の充実を図る。
- ・市所有車両の更新、増強に努め、更に更新対象の除雪車両を委託業者に払下げて市内に除雪車両を確保する。

(2) 更なる市民協働の除排雪の推進

- ・小型除雪機の貸出しを継続し、更に機械の増強を行う。また運転手が確保できない町内会等に対しては引き続き支援等の検討を行う。
- ・排雪用ダンプトラックと積込み機械の利用拡大に向けて、貸出基準の緩和を検討する。
- ・除雪モニター制度は、有効であることから制度の周知と全域への設置拡大を図る。

(3) 凍結路面对策

- ・除雪作業時の凍結防止剤散布については、除雪モニター等から寄せられた路面情報を参考に作業箇所を絞り、作業方法を業者と相談しながら地域協力の可能性なども検討する。
- ・アイスバーン破砕装置については、メーカーに改良を要望し、今後も他都市の事例等を踏まえながら研究を継続する。

6 今後の進め方

(1) 除雪車両更新スケジュール

- 5月30日 全員協議会
- 6月 除雪車両入札 仮契約
全員協議会 追加議案説明
議会 議案審議
除雪車両購入契約
- 7月 更新対象除雪車両の払下げ手続き開始

(2) 除排雪計画見直しスケジュール

- 5～6月 除雪モニターとの意見交換会
- 7～8月 業者講習会

以降

全員協議会 除排雪計画案の説明
平成25年度盛岡市道除排雪計画の決定